

議 事 要 旨 記 録 票

日 時	令和7年5月26日（月曜日） 午前10時から午前12時まで
場 所	中央公民館 実習室
会議件名	令和7年度第1回 公民館運営審議会
主な議題	<p>報告事項</p> <p>（1）令和6年度 多様な学びの場構築事業（多摩市との広域連携活動事業）」について</p> <p>議題</p> <p>（1）持続可能で効率的な運営を図る計画、会議等の統廃合について</p> <p>（2）「日野市新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画」、「日野本町地区公共施設再編基本構想」について</p> <p>（3）生涯学習支援課の方向性について</p> <p>（4）「令和6年度日野市中央公民館（令和5年度事業）の運営状況の評価」について</p>
参加者	<p>公民館運営審議会委員</p> <p>須崎委員、生島委員、今尾委員、丹間委員、斉野委員、諸星委員、木戸場委員、中野委員、伊野委員、小川委員 ※生島委員はリモート参加</p> <p>教育委員会事務局</p> <p>飯倉生涯学習担当参事（ふるさと文化財課長兼務）、大村生涯学習支援課長（中央公民館長兼務）、須崎生涯学習支援課主幹（中央公民館副館長兼務）、瀧口生涯学習支援課公民館係長</p>
配布資料	<p>【資料0】 令和7年度 日野市中央公民館基本方針</p> <p>【資料1】 令和6年度 多様な学びの場構築広域連携事業報告</p> <p>【資料2】 教育振興基本計画又は教育大綱などの策定状況及び生涯学習審議会等の設置状況（令和6年5月現在／東京都区市町村データブックより）</p> <p>【資料3】 日野市新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画（概要版・抜粋）</p> <p>【資料4】 日野本町地区公共施設再編基本構想（概要版）</p> <p>【資料5】 令和7年度 講座等事業に係る生涯学習支援課の方向性について</p> <p>【資料6】 令和7年度 日野市中央公民館の運営の状況に関する評価書（令和6年度事業）（案）</p> <p>ほか、第4次日野市学校教育基本構想と日野市生涯学習推進基本構想・基本計画のリーフレット配布</p>

<p>結 果</p>	<p>議題の内、(1)と(4)については、継続協議、(2)と(3)については了承</p> <p>(1) 持続可能で効率的な運営を図る計画、会議等の統廃合について</p> <p>(4) 「令和6年度日野市中央公民館(令和5年度事業)の運営状況の評価」について</p>
<p>主な内容</p>	<p><u>報告事項</u></p> <p>(1) <u>令和6年度 多様な学びの場構築事業(多摩市との広域連携活動事業)</u>について</p> <p>事務局より資料1をもとに説明、特に意見なし。</p> <p><u>議題</u></p> <p>(1) <u>持続可能で効率的な運営を図る計画、会議等の統廃合について</u></p> <p>事務局より資料2の都内自治体の事例をもとに、第4次日野市学校教育基本構想と日野市生涯学習推進基本構想・基本計画の統合や、生涯学習課と中央公民館の統合を踏まえ、社会教育委員の会議や公民館運営審議会の連携の可否、合同開催について提案</p> <p>(委員)</p> <p>本提案について3点確認したい。本提案は組織的な提案なのか、全国的な流れなのか、会議の合同開催の前に会議録の公開による情報共有が必要だと思いがいかか。なぜ、それらの確認が必要かと言うと、生涯学習課と中央公民館の統合にあたり談話室の縮小の問題があり、市民利用者との共通理解が醸成されていなかった。やはり公民館は市民とそのあり方を決めていくことが必要だと考えるので、遅ればせながら公運審主催の学習会を開催してもらった経過がある。計画や審議会の一体化については、これまで日野市で築いてきたことを大事にしなが、その必要性を検証し丁寧に進める必要がある。</p> <p>(事務局)</p> <p>行政のスリム化を図るのは喫緊の課題で、教育分野に限らず、組織的な提案である。計画や審議会の一本化については、全国的な傾向までは確認していないが、資料にあるように東京都内の流れは事実であると認識している。審議会の同時開催はおもしろい試みだと思って提案させていただいたが、丁寧に進めていきたいと考える。</p>

(委員)

それぞれの審議会や会議には役割があると思うので、改めて社会教育法などの法的な位置づけを確認し、他自治体の事例など情報収集しながら研究をしていく必要があるし、その点について協力はできる。

(事務局)

ご指摘いただいた公民館ならではの利用者との対話交流は大事だと思う。公民館総合計画の作成においても、市民利用者とともに作ってきた経過があり、しっかり引き継いでいきたい。

(委員)

全体の教育振興計画の中に生涯学習部門の計画があるのは一般的だが、公民館総合計画なども含めた計画を考えているのか。

(事務局)

統合を提案したのは、学校教育と生涯学習のビジョン的な計画であって、公民館などの個別の具体的な計画は別と考えている。本件について、引き続き協議をしていきたい。

(2)「日野市新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画」、「日野本町地区公共施設再編基本構想」について

資料3（日野市新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画）をもとに説明、本件については特に意見はなかったが、委員より談話室の子どもの利用について確認があり、事務局から現状の談話室の子どもの利用状況について説明し、各委員からも意見交換があった。

資料4（日野本町地区公共施設再編基本構想）をもとに説明

(委員)

本件について検討委員会の委員として参加しているが、それぞれの立場の方がさまざまな意見を表明し、折り合いをつけるのが難しいと感じる。意見の出し方にも気を使う難しい委員会である。

(事務局)

同じく検討委員として参加しているが、主張すべきことは言っていたきたい。生涯学習部門としても、公民館、図書館、日野宿交流館があり、それぞれの希望はあるが建築条件の問題もあり調整していきたい。特に公民館は中心になってほしいと思う。

(委員)

危険なのは、公民館的な施設など機能ベースの複合施設になってしまうこと。目的ベースとして、社会教育法で位置づけられた条例による公民館を維持していくことを堅持してほしい。欲を言えば、説明のあった学校施設内の社会教育スペースも公民館として位置づけられるとよい。

(事務局)

庁内検討委員会でも、条例に基づく公民館を維持する形で意見交換しており、委員会の共通認識でもある。

(3) 生涯学習支援課の方向性について

事務局より資料5をもとに説明

(委員)

各学校でもPTAが縮小している中必要性は感じていて、一度なくなった学校でも再構築する動きがある。その中で家庭教育学級を公民館事業としてやってもらえることで、PTAでは相談先ができてありがたいとの話を聞いている。課題のところで、子ども若者世代の事業に関し、公民館や児童館、みらいくなどさまざまところから子どもの居場所の案内が来てありがたいが、子どもや保護者にとってみれば全部一緒に預ける場でしか捉えられていないと感じる。子ども企画事業でも同様で、住み分けというか違いを家庭に知らせていく必要がある。

(委員)

公民館運営審議会でも以前学校連携の答申を出させていただいている。生涯学習事業について、学校運営協議会との連携を図れるとよいのではないかと。

(4) 「令和6年度日野市中央公民館（令和5年度事業）の運営状況の評価」

について

事務局より、資料6をもとに説明、内容を確認してもらい、質問や意見等については、後日連絡をもらう。

(委員)

公民館活動の高齢化による担い手不足が大きな課題になっていて、今後公民館を使う人達を広げていくための取り組みが、再編計画にもつながっていくと思う。これまでの公民館制度を維持していくため、学生など若者が注目されているが実際はあまり使わない。むしろ社会に参加していくためのステップとして、公民館の仕掛けにより、地域に関わっていく機会や、その主体性を引き出せるようなビジョンを掲げると、公民館の活用者が生まれて来ると思う。今回の会議だが、事業評価であるとか公民館の狭義の議論に留まっていて、日野市の社会教育や生涯学習を展望していく広がりビジョンが弱くなっているのが全体の印象であった。

その他

・公民館まつり報告。来場者 5,800 人程あり、大変盛況であった。また、ひの21 世紀みらい塾の講師によるコーナーやごみ箱の廃止が新しい取組で、特にごみは持ち帰りに協力いただき、ほとんどなかったことは大きな成果であった。

・アートフェスティバルについては、猛暑対策として夏から秋に変更（10/25、/26 に開催予定）

次回の公民館運営審議会は7月下旬に開催予定

作成者

生涯学習支援課 須崎